

# 大岩ガ岳

コース難易度 **体★ 技★★ 危★**  
 登山時期 9月中〜6月上旬

道場駅 千刈貯水場 登り口 大岩ガ岳 丸山の分岐 東山橋 道場駅

3時間40分  
 一般向  
 歩行

大岩ガ岳は、神戸市の浄水場千刈水源池の東側の384mのピークを指し、山頂から北へ派生した3本の岩尾根からこの名が付いたと考えられる。山頂からの眺めは素晴らしい、それらを取り巻く自然林もよく保存されていて、隠れた名山の一つと数えたい。

2.5万円  
 武田尾

## コースアドバイス

道標は山頂までの間はほぼ付いているが、下山コースには少ないため、技★と表示した。このエリアは神戸市浄水場のため、森林面積が広く自由に散策できるが、コースをしっかり把握して行動したい。特に山頂からの下降のとき、変形四ツ辻に出たらまっすぐの道を進もう。

適期は9月中〜6月上旬。山が低いため年中登山できるが、梅雨頃から盛夏は避けたい。雨量は10〜20cmまで。軽アイゼンは携行したい。

## 道場駅⇄大岩ガ岳

1時間55分⇄1時間25分  
 J R道場駅から左へ進み、J Rの踏切を渡って武庫川沿いに歩く。左に折れて支流の波豆川に入ると、まもなく神戸市水道局の千刈貯水場に来て、右側の通路を歩き、ダムに到着。大正3年から17年の歳月を費して完成した千刈水源池のダムで、高い水門は見上げるばかり。



昭和初期完成の千刈ダム

橋を対岸に渡って右に折れ、100mほどばかり下流に戻ってから人工の溝に沿って山道を登る。そして左へしばらく登ると、ダムから上がってきている道（廢道）と合流し、ほんの少し進んだところで道は2つに分かれる。左の道は水源池へ下っているのて右をとりしばらくして次の二股を今度は左にとる。右の道はサブコースとして利用できる。

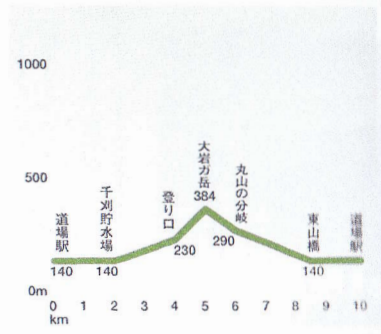
この道は水源池に沿った尾根道なので、水源池を見下ろしながら進むことができ、前方に姿形のよい羽束山が眺められて気持ちのよいコースだ。この辺り一帯は水源涵養林に指定されている。

小さい谷川を2つ渡り、尾根を登り詰めたところに大岩ガ岳のコースを分岐（登り口）。左は一周コース。尾根道から小さいピークに着くと、正面にドーム状の大岩ガ岳が大きく迫る。次いで左に向かって少し下り、再び登りを重ねていくと小さい岩場があり、それを登り詰めると、二等三角点の標石のある大岩ガ岳の山頂だ。

西側と北側が大きく開けて素晴らしい展望が待ちかまえる。まず西側では、六甲山系の西の端から丹生山系へと長い連嶺が続き、播磨半島の次に播磨アルプス



大岩ガ岳からダム湖を見下ろす



**コースタイム**  
 J R道場駅 (25分)⇄25分) 千刈貯水場 (1時間⇄40分) 登り口 (30分)⇄20分) 大岩ガ岳 (25分)⇄40分) 丸山の分岐 (1時間⇄1時間20分) 東山橋 (20分)⇄20分) 道場駅

**交通**  
 ●電車⇄大阪駅からJ R福知山線普通45分で道場駅。  
 ●マイカー⇄中国自動車道西宮北ICから県道15号を北上し、道場で県道319号を東にとり、道場駅東の踏切を渡って千刈貯水場前の駐車場(30台、無料)に入れる。約10km、約10分。

**サブコース**  
 最初の登りで3つの分岐のうち最後の分岐を右にとり、大岩ガ岳の南側を回り込むように進んでから山頂に向けて急登する。取り付き左側に岩場が見られる。水源池(1時間⇄45分)大岩ガ岳  
 千刈水源池一周コース⇄東回りて歩いた場合、西側のゴルフ場横から水源池に向けて90度折れる地点を確認する必要がある。6時間。

**問合せ**  
 三田市商工観光課  
 ☎0795・63・1111

**プラスワン**  
 ●千刈貯水場の桜⇄ダム手前の貯水場は桜の名所として知られ、4月上旬の1週間一般公開している。道場町観光協会 ☎078・985・2381  
 ●鎌倉峡⇄J R道場駅から南へ歩いて3kmのところは百丈岩と船坂川鎌倉峡があり、周辺一帯は公園化され、ピクニックセンターになっている。